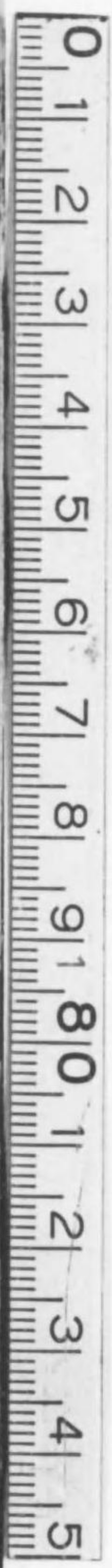


十明  
二年治  
共進會  
報告

治十三年五月刊行  
共進會創設主旨

特279-119  
1200501131962  
特279  
19



始





共進會報告

共進會創設ノ主旨  
我大藏太輔兼勸農局長松方正義佛國萬國大博覽會へ派出ノ際全  
國政府ニ於テ農商事業ヲ保護獎勵スルノ順序及慣法ノ沿革ヲ探究セ  
シニ其政策多端ナリト雖就中競爭會施設ノ利益最大ナルヲ觀察セリ  
於是歸朝ノ后之ヲ内務大藏兩卿へ具狀●以テ共進會開設ノ時期ニ達  
ヲ得タリ夫レ人類ノ生ヲ遂ケ邦家ヲ經營スル所以ノモノ一トシテ  
國産ニ據ラザルハ無シ而シテ國産ノ盛衰ハ國民ノ勉否ニ關シ邦家ノ  
貧富強弱ハ必ラズ國産ノ多少製造ノ精練ニ基クテ古今宇内ノ形跡ニ  
徴シテ照然タリ是レヲ以テ海外各國人智ノ上進スルニ從ヒ上下心ヲ  
一ニシ大ニ平素ノ業務ヲ競爭セシメ優劣ヲ公明ニシ以テ互ニ富強ヲ



謀ル其勢甲僅ニ弛メハ乙忽チ張り軌轢ノ甚シキ其間變チ容レザルナ  
リ願テ我國ノ形勢ヲ察スルニ千歲鎖國ノ民心動モスレハ小端ニ安ス  
ルノ因習ヲ脱セズ外交開ケシヨリ以降輸出入常ニ平均チ失シ金銀貨  
幣ノ外出スルモノ日一日ヨリ減少セズ以テ我利源ノ衰狀ヲ來サント  
ス若シ此ノ如クニシテ之レヲ匡濟振興スルノ策無クソバ一國ノ命脈  
タル國産ハ年一年ヨリ其衰耗チ増添ス亦論チ俟タズ殖産貿易ノ艱  
難ナル蓋シ今日ヨリ甚シキハ無シ是畢竟鎖安ノ陋習未タ脱セズ競爭  
ノ氣勢未タ大ニ發セサルニ由ルノミ然レハ則チ今ニ方チ之チ鼓舞競  
爭セシメ我長産チ増殖シ我製法チ改良シ其出ルモノハ益之ヲ出シ其  
入ルモノハ愈之チ減シ大ニ富強ヲ圖ルハ邦家ノ大計ニシテ一日モ忽  
諸スベカラサルノ急務タリ而シテ之チシテ然ラシムルノ道極メテ多  
端ナリト雖モ施設ノ順序チ推究スルニ國內著名ノ物産ニ就キ適當ノ  
期節及地勢ヲ撰ヒ漸次一物毎ニ各地同種ノ製産ヲ一場ニ集メ其業ニ

熟練ニシテ名望アルモノチ各地ニ撰ヒ之レチ審査委員ニ舉ガ警ヘハ  
生絲繭茶ハ栽植ノ多數培養ノ周到製方ノ精良製額ノ多數需用ノ適當  
貯藏荷造ノ完善等ノ諸目チ以テ審査スルカ如ク各物毎ニ其性質效用  
ニ由リ細カニ節目チ設ケテ之チ審査シ又平素該業ニ就テ主唱發明改  
良或ハ業務擴張ノ功績ヲモ併セテ調査シ其拔群ナル有功者ハ之チ表  
スルニ褒賞ヲ以テシ營業者一般ノ勢力チ獎勵シ甲起レハ乙振ヒ東西  
相共ニ殖産改良チ競ヒ國民チシテ知ラス識ラズ増進ノ域ニ至ラシム  
ルニ如ク無キヲ以テ本年五月中内務大藏兩卿ヨリ共進會開設アラソ  
フチ太政大臣へ上請シ允許チ得勸農商務兩局長チシテ其事務ヲ總理  
セシメタリテ而シテ我國産中生糸茶ハ最モ著名ナルチ以テ首トシテ  
此二品チ先ニシ以テ綿砂糖其他ニ及ホサントス今ヤ本會ノ報告出ル  
ニ方リ官意普ク民情ニ徹シ實効ノ將來ニ著シカラソフチ希望ス於是  
其主旨及ヒ併テ佛國競爭會ノ沿革チ畧誌シ業務者ノ參考ニ供フルト



左ノ如シ

佛國競爭會沿革畧說

佛國競爭會(コンクルト)ノ創始ハ蓋シ千七百年ノ頃ヨリ始マル然レトモ各種ニ付施設ノ方法ヲ異ニシ時日モ又同シカラザルカ故ニ每種其創設ヨリ現今ニ至ル迄ノ沿革ヲ叙述セントスルモ頗ル多端ニ涉リ繁冗ヲ免カレサルヲ以テ茲ニ農商務省沿革誌中ヨリ其要領ヲ鈔録スル左ノ如シ

千七百年代ニ於テ人智ノ進度ニ隨ヒ樹木ノ需用日チ逐テ増殖シ之ヲ伐採スル年一年ヨリ廣大ニ赴キシモ人民其欠賸ヲ補充スベキ植樹ノ方法ヲ顧慮セズ佛國ノ山林悉ク秃山ニ歸シ終ニ損害ヲ招ク少ナカラザリシヨリ當時ノ内務卿ベテセツチ氏ノ意見ヲ以テ競爭會條目ヲ定メ各州廳ニ布達シ農民ノ植樹ニ勉勵注意センコトヲ獎勵シ拔群勉勵ノ者ヲ賞スルニ金銀牌ヲ授與スル方法ヲ施設シ左ノ條件ニ合格セシ者

ニ褒賞ヲ給與セリ

- 第一 凡ソ所有主ニシテ未ダ菓樹ヲ州内ニ菓樹ヲ稚樹園ヲ作ル者
- 第二 農區或ハ州内ニ於テ最も要用ニシテ適當ト撰定セル林樹ヲ植栽セシ者
- 第三 本會條目中ニ掲載セル土地ニ植樹スル者
- 第四 條目中ニ掲載シタル林樹ヲ所有地内ニ植栽セシ者
- 第五 各邑内公有地ニ自費ヲ以テ樹木ヲ植シ者

尙全年種獸及農具農産競争會ノ規則ヲ發令ス是政府ニ於テ競争會ヲ設立セシ權興ナリ  
千八百年代ノ初期英國ニ於テ農會(アグリカルチュール)ヲ設置シ農業者ヲ集會セシメ農産ニ付利益ノ適法ヲ發明セシ者ヲ褒賞スルノ方法ヲ設ケ其優等賞ノ如キハ金四千フランク及價六百フランクノ賞牌ヲ以テシ以下大ニ差等アリ蓋シ廣頃ノ田圃ヲ所有スル諸侯(ロルド)ノ如キモ



ノト雖モ僅ニ百五拾フランクノ褒賞ヲ得却テ備農ス如キハ逸カニ高等ノ賞ヲ領スルモノアリシト云千八百十八年ノ頃佛國宰相デカール氏農産振興ニ關シ該法ノ甚善良ナルヲ信シ國內食用獸及種獸其他競爭會ノ方法ヲ改良セントシ其得失ヲ各州ニ下問セシト雖モ機會未タ到來セズ各州ニ於テ其利益ヲ信スルノ識見ヲ有スル者稀ナルヲ以テ之ニ應スルモノナク惜シムベシ此好意匠ヲ廢滅セシムルニ到レルトハ千八百四十三年三月三十一日ヲ以テ食用獸競爭會ヲ毎歲開設スベキ旨ヲ發令ス

千八百六十年食用獸種獸農具農産ヲ併ハセ内國一般農産競爭會ヲ巴里府ニ開設シ夫カ爲メ全年五月廿一日ノ布令ヲ以テ千〇八万六千「フランク」ノ特別費ヲ農商務省ノ定額中ニ加ヘ各種區ヲ異ニシ類ヲ分テ以テ競爭セシメ審査官ハ重モニ農業會社ノ社員ヲ撰命シ大ニ農産ノ道ヲ擴充ス其褒賞ノ數獸ノ部ニ於テ六百五十二個農具ノ部ニ於テ百九十四個農産ノ部ニ於テ七百六十個ナリ是レヲ内國一般競爭會ノ權與トス爾后毎歲之ヲ開設シ千八百七拾九年即明治十二年ノ如キハ左ノ種類ヲ巴里府工藝館内ニ開設スベキ規則ヲ頒布セリ

第一區 牛ノ數種

食用獸 第二區 羊ノ數種

第三區 豚ノ數種

食用禽 第一區 活禽ノ數種

第二區 賣買ノ爲メニスル屠禽

第一區 軟製牛酪

第二區 乾酪



第三區 壓製及煎製ノ牛酪  
第四區 山羊及羊ノ酪

穀物種子  
第二區 小麥ノ數種  
第二區 燕麥ノ數種

第三區 大麥ノ數種及天然野草ノ數種

亞麻及大麻ノ數種  
草及其房

工用、養獸及食用直根及塊根ノ數種  
蔬菜ノ數種  
生草及食用乾草ノ數種

蜂蜜及蠟ノ數種

前記ノ諸種區類ヲ以テ分別シ之ヲ審査公定シ其優等ノ者ヲ賞シ他ヲシテ競爭奮勵セシム其褒賞ハ一等ヨリ八等迄ニ至リ每區及每類差等アリ最モ優等ノ者ヘハ名譽賞トシテ美術品ヲ授與シ外ニ金牌一個及千(フラン)ク其他銀牌銅牌ニ金若干ヲ添ヘ或ハ賞牌ノミヲ授與スルモノアリ

前ノ競爭會ト共ニ農用器械及農具ノ展覽ヲ設クト雖モ其器械及農具ヲ試驗スル丁無ク且賞牌ヲモ授與スル丁無シ内國一般競爭會概略如此ナリト雖モ猶各農區毎ニ諸種ノ競爭會アリ今茲ニ農商務省事務要覽ノ中ヨリ鈔録シ參考トス

抑佛國ニ於テ競爭會ト稱スルモノハ其種類頗ル多ク之ヲ詳細ニ區分スル丁甚難シ但シ何種類ノ競爭會タルヲ問ハズ悉ク農商務省ノ保護ニ倚ラザルハ無シ譬ハ農事勸奨ノ爲メ一社ヲ結ヒ特ニ一科ヲ研究セ



十  
ントスル者アリ其研究ヲ遂ケントスルニハ先一地方ニ於テ製作スル  
所ノ物産ヲ集メ其良否ヲ試ミザルヲ得ス斯ニ於テヤ始メテ競争會ヲ  
設ク是即私立ノ競争會ニシテ官ヨリハ僅カニ其雜費ヲ補フベキ金圓  
若干ヲ給與スルニ過ギス又此會ニ出品スル者ハ敢テ社員ノミニ限ラ  
ズ全郡若シクハ全村ノ有志者ヲ以テ去レドモ其良否ヲ審査スル者  
ハ必ラズ社員ヨリ撰命スルモノトス且出品者ニ授與スル所ノ褒賞ハ  
社ノ貧富ト政府補助ノ多少ニ據ルト雖モ多クハ賞牌ト金圓トヲ以テ  
シ或ハ賞牌ノミ金圓ノミ又ハ精工ノ農具、良種ノ家畜、美術品等ヲ授與  
スルヲアリ  
以上叙フル所ハ即私立競争會ノ概略也尙下條ニ於テ農區一般競争會  
ノ性質ヲ略記スヘシ但シ内國一般農產競争會ハ前ニ略述セシヲ以テ  
贊セズ  
佛國ニ於テハ全國ヲ十二農區ニ分ツテ恰モ裁判區、鎮臺區、學區ニ於テ

ルカ如シ而シテ此一般競争會ノ如キモ各農區ニ於テ之レヲ設ク故ニ  
農商務卿ハ毎年食用獸一般競争會一回及種獸、農具、農產等ノ競争會十  
二回ヲ開設セシム其開設ノ地方年々轉換ス即左ノ略表ノ如シ但シ前  
後ハ右ニ準シ推測スベシ



前表ノ如ク毎歲開設ノ地ヲ異ニム但シ佛國ノ一農區ハ大凡七八州ヲ  
合セシモノナルヲ以テ七八年毎ニ順次開設スルノ割合タリ  
出品者ハ全ク農區内ノ者ニ限ルト雖モシユルハム種ノ牛ヲ所有スル  
者及農具製造人ニ限リ特例ヲ以テ他農區ノ競争會ニ出品スルヲ許ス  
總テ種獸農產農具等ヲ賞スルハ悉ク政府ノ費用ナレバ賞與ノ物品ハ  
全ク政府ニ於テ擔任シ開設中ノ雜費ハ設クル所ノ州及府ニ於テ支弁  
スルヲ常トス其費額天幕小屋其他ヲ合シ凡ソ貳万フランクヲ要シ又  
政府ハ凡四万フランクヲ賞牌及賞金ノ費用ニ充ツ尤多クハ競争場ノ  
借料ヲ拂フモノニシテ其事業引請人ハ相當ノ契約ヲ爲シ所用品及配  
置等ノ都合ヲ調達スルモノナリ  
總テ競争會ニ於テハ農區總監察壹名事務ヲ總理シ恰モ事務官長ノ位  
置ニ相當ス  
審査委員ヲ六種ニ分テ各委員毎ニ五六名ヲ出シ審査官トシ獸類農產

前表ノ如ク毎歲開設ノ地ヲ異ニム但シ佛國ノ一農區ハ大凡七八州ヲ  
合セシモノナルヲ以テ七八年毎ニ順次開設スルノ割合タリ  
出品者ハ全ク農區内ノ者ニ限ルト雖モシユルハム種ノ牛ヲ所有スル  
者及農具製造人ニ限リ特例ヲ以テ他農區ノ競争會ニ出品スルヲ許ス  
總テ種獸農產農具等ヲ賞スルハ悉ク政府ノ費用ナレバ賞與ノ物品ハ  
全ク政府ニ於テ擔任シ開設中ノ雜費ハ設クル所ノ州及府ニ於テ支弁  
スルヲ常トス其費額天幕小屋其他ヲ合シ凡ソ貳万フランクヲ要シ又  
政府ハ凡四万フランクヲ賞牌及賞金ノ費用ニ充ツ尤多クハ競争場ノ  
借料ヲ拂フモノニシテ其事業引請人ハ相當ノ契約ヲ爲シ所用品及配  
置等ノ都合ヲ調達スルモノナリ  
總テ競争會ニ於テハ農區總監察壹名事務ヲ總理シ恰モ事務官長ノ位  
置ニ相當ス  
審査委員ヲ六種ニ分テ各委員毎ニ五六名ヲ出シ審査官トシ獸類農產



農具等ヲ検査シ賞與ヲ定メ名譽費耕作賞金又賞牌ヲ農區中ノ最モ卓  
 絶善長ナル農夫ニ與フルモノトス尙別ニ特設審査委員アリ農區總監  
 察之レガ長タリ而シテ此競争會ヲ設クルニ就キ出品者ノ中立アレバ  
 此會ノ前年三月一日迄ニ此審査官再度派出シ其事業ヲ細密ニ検査シ  
 視察ノ成跡如何ヲ胸記シテ詳カニ報告ス此名譽賞ナルモノハ千八百  
 五十六年ニ於テ始テ設ケシモノナリ  
 此競争會ニ於テ褒賞ヲ得ルモノ大概年々各州ニテ十五名乃至二十名  
 ナルヲ以テ若シ十一州ヲ集ムル時ハ二百有餘名ニ登ルベシ此競争會  
 ノ設ケタルヤ農業進歩ヲ知ラシムルノ廣益アルノミナラズ耕業ノ長  
 法及順序ヲ正フシ經濟ヲ主トシ且改良ノ模範ヲ示スニ足ルモノトス  
 名譽賞及耕作賞ノ二種ハ耕業上ノ成果ニ於テ計算上有益ト認ムルモ  
 ノニ限ル金牌及大小摸型品大銀牌ハ審査上有功ト認メタル一科特別  
 ノ改良品ニ限ルモノトス

審査官ノ報告ハ賞與セシ耕地圖等ヲ合セ毎歲農商務卿ノ命ヲ以テ之  
 レヲ印刷シ一大冊トス蓋シ農事總監察ノ指揮ニ成ルモノナリ  
 今農區競争會ノ爲メ政府ヨリ支出スル所ノ金額ヲ概記スルニ毎歲五  
 十五万フランクヲ要シ名譽賞二十三万七千フランク合計七十八万七  
 千フランク也但シ耕業現場視察費モ此中ニ算入スルモノトス

明治十三年四月刊行

勸農局藏版  
商務局藏版

發兌書肆

東京南傳馬町二丁目十三番地  
有隣堂 穴山篤太郎



終

